

令和6年度(2024年度) 年間授業計画表									
学年	3	コース	特進Z・選抜(理系)	選択形態	選択必修	科目	生物	単位	4
学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験を行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理、法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。								
使用教科書	生物(数研出版)	副教材	アクセス生物(浜島書店) ニューステージ生物図表(浜島書店)			予定時間数	140		
単元と内容									
1学期	第7章 生物群集と生態系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個体群の成長には個体群密度が関係していることを理解する。</li> <li>・ 個体群の個体数の変化には、その個体群の年齢構成や年齢ごとの死亡率などが影響することを理解する。</li> <li>・ 標識再捕法で個体数が推定できる理由を、対象となる生物の個体群の性質などを踏まえて説明することができる。</li> <li>・ 与えられた条件をもとに、個体群の個体数を推定することができる。</li> <li>・ 群れや縄張りについて、その大きさに応じて生じる利益と不利益の兼ね合いによって、最適な大きさが存在していることを理解する。</li> <li>・ 個体群内で見られる個体どうしの社会的な関係とその利益を理解する</li> <li>・ 生態系や生物多様性の保全の重要性を理解する。</li> <li>・ 人間活動が生態系に与える影響の例として、窒素排出量の増加や生息地の分断化などがあることを理解する。</li> </ul>							
	問題演習・解説	大学入学共通テストに向け、必要な知識・技能を身につけ、入試に対応できる力を育成する。							
2学期	問題演習・解説	大学入学共通テストに向け、必要な知識・技能を身につけ、入試に対応できる力を育成する。							
3学期	問題演習・解説	大学入学共通テストに向け、必要な知識・技能を身につけ、入試に対応できる力を育成する。							
評価									
評価の観点		評価の趣旨				評価対象			
						1学期末	2学期末	学年末	
①	知識・技能	・ 知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な習得ができていますか				○	○	○	
②	思考力・判断力・表現力	・ 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力を身につけているか。				○	○	○	
③	主体的に学びに向かう態度	・ 「知識・技能」の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしているか。				○	○	○	
評価方法	①		②			③			
	定期考査	80 %	定期考査	50 %	口頭試問	70 %			
	レポート	10 %		口頭試問	30 %				
	相互評価	5 %		各種発表・まとめ	20 %				
	各種提出	5 %			各種発表・まとめ		30 %		

令和6年度(2024年度) 年間授業計画表									
学年	3	コース	特進選抜	選択形態	理:選必	科目	物理	単位	4
学習目標	物理的な事象・現象についての観察や実験を行い,自然に対する関心や探究心を高める。また,物理的に探求する能力と態度を育てる。そして,基本的な概念や原理・法則を理解し,科学的な自然観を育成する。								
使用教科書	物理(数研出版)		副教材	新課程 リードα物理(数研出版)				予定時間数	140時間
単元と内容									
1学期	第4編 電気と磁気 第1章 電場		<ul style="list-style-type: none"> <li>・クーロンの法則,電荷の周りにできる電場,電場と電荷の関係を理解する。</li> <li>・電場中の物体表面に生じる,電荷のしくみを理解する。</li> <li>・既習事項と関連させながら,コンデンサーを理解する。</li> </ul>						
	第2章 電流		<ul style="list-style-type: none"> <li>・キルヒホッフの法則を理解する。</li> </ul>						
	第3章 電流と磁場		<ul style="list-style-type: none"> <li>・電場と対比させ,磁場の定義を把握する。</li> <li>・電流が磁場から受ける力について理解し,その力の向きを把握する。</li> </ul>						
	第4章 電磁誘導と電磁波		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験から電磁誘導の現象を実感し,誘導起電力について理解する。</li> <li>・抵抗に直列につないだコイルや,コンデンサーに加わる電圧の位相について理解する。</li> <li>・電磁波の発生のしくみを理解する。</li> </ul>						
2学期	第5編 原子 第1章 電子と光		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トムソンの実験とミリカンの実験から,電子の比電荷,電荷,質量が実測されてきた過程を理解する。</li> <li>・光がエネルギーや運動量をもった粒子としてもふるまうことを理解する。</li> <li>・光電効果の特徴を理解し,限界寸動数,光電子の阻止電圧,阻止電圧と振動数との関係から,プランク定数や仕事関数を決定することができるようになる。</li> </ul>						
	第2章 原子と原子核		<ul style="list-style-type: none"> <li>・量子条件と振動数条件というボーアの理論を理解し,水素原子のスペクトルについて成り立つ式を理論的に導き出すことができるようになる。</li> </ul>						
	問題演習		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入学共通テスト対策・私大対策・国公立2次対策</li> </ul>						
評価									
評価の観点		評価の趣旨			評価対象				
					1学期末	2学期末	学年末		
①	知識・技能	観察,実験などを通して物理的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し,知識を身に付けている。物理的な事物・現象に関する観察,実験の技能を習得するとともに,それらを科学的に探究する方法を身に付けている。			○	○	○		
②	思考力・判断力・表現力	物理的な事物・現象の中に問題を見だし,見通しをもって観察・実験などを行う。事象を実証的・論理的に考え,分析的・総合的に考察し,問題を解決する。事実に基づいて科学的に判断したことを,言語活動を通じて表現する。			○	○	○		
③	主体的に学びに向かう態度	物理的な事物・現象に関心や探究心をもち,意欲的にそれらを探究するとともに,科学的態度を身に付けている。			○	○	○		
評価方法	① 知識・技能		② 思考力・判断力・表現力		③ 主体的に学びに向かう態度				
	定期考査	80%	定期考査	80%	定期考査	20%	各種提出・レポート	80%	
	各種提出・レポート	20%	各種提出・レポート	20%	各種提出・レポート	80%			

令和6年度(2024年度) 年間授業計画表

学年	3	コース	特進Z 理系	選択形態	必修	科目	化学	単位	4
学習目標	化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。								
使用教科書	化学(第一学習社)	副教材	新課程版 セミナー化学(第一学習社)				予定時間数	140	
単元と内容									
1学期	第IV章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴 第2節 脂肪族炭化水素 第3節 酸素を含む脂肪族化合物 第4節 芳香族化合物	<ul style="list-style-type: none"> <li>有機化合物の特徴と分類について理解する。</li> <li>有機化合物の構造式を決定するまでの過程を学習し、その原理を理解する。</li> <li>飽和炭化水素の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</li> <li>不飽和炭化水素の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</li> <li>アルコール、エーテルの性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</li> <li>アルデヒド、ケトンの性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</li> <li>カルボン酸、エステルの性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</li> <li>油脂、セッケンの性質を、その構造と関連付けて理解する。</li> <li>芳香族炭化水素の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</li> <li>フェノール類、芳香族カルボン酸の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</li> <li>芳香族アミン、アゾ化合物の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</li> <li>芳香族化合物の分離を化合物の性質にもとづいて理解する。</li> </ul>							
	第V章 高分子化合物 第1節 高分子化合物 第2節 天然高分子化合物 第3節 合成高分子化合物	<ul style="list-style-type: none"> <li>高分子化合物の特徴を理解する。</li> <li>単糖、二糖について、その構造や性質を理解する。</li> <li>多糖について、その構造や性質を理解する。</li> <li>再生繊維と半合成繊維について、その合成や性質を理解する。</li> <li>α-アミノ酸について、その性質や構造を理解する。</li> <li>タンパク質について、その構造や性質を理解する。</li> <li>核酸について、その構造や働きを理解する。</li> <li>合成高分子化合物の特徴や分類を理解する。</li> <li>合成繊維について、その構造や性質、用途を理解する。</li> <li>合成樹脂について、その構造や性質、用途を理解する。</li> <li>機能性高分子について、その構造や性質、用途などを理解する。</li> <li>天然ゴムと合成ゴムについて、その構造や性質、用途などを理解する。</li> </ul>							
	終章 化学の築く未来	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学が果たしてきた役割として、さまざまな物質がそれぞれの特徴を生かして人間生活の中で利用され、日常生活や社会を豊かにしていることを理解する。</li> <li>化学の成果がさまざまな分野で利用され、未来を築く新しい科学技術の基盤となっていることを理解する。</li> </ul>							
2学期	大学入学共通テスト&私立大学入試対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学の全範囲の基礎の復習を通して、共通テストや私立大学の入試問題に対応できる力を身につける。</li> </ul>							
3学期	国公立大学2次&私立大学入試対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>国公立大学2次や私立大学を受験する生徒に対して、個別に指導する。</li> </ul>							
評価									
評価の観点		評価の趣旨				評価対象			
						1学期末	2学期末	学年末	
①	知識・技能	化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。				○	○	○	
②	思考力・判断力・表現力	化学的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。				○	○	○	
③	主体的に学びに向かう態度	化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				○	○	○	
評価方法	① 知識・技能		② 思考力・判断力・表現力			③ 主体的に学びに向かう態度			
	定期考査	80%	定期考査	50%	各種提出・レポート	50%	各種発表・まとめ	50%	
	各種提出・レポート	20%	各種発表・まとめ	50%					

令和6年度(2024年度) 年間授業計画表

学年	3	コース	特進選抜理系	選択形態	必修	科目	化学	単位	4
学習目標	化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。								
使用教科書	化学(第一学習社)	副教材	新課程版 セミナー化学(第一学習社)			予定時間数	140		
単元と内容									
1学期	第IV章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴 第2節 脂肪族炭化水素 第3節 酸素を含む脂肪族化合物 第4節 芳香族化合物	<ul style="list-style-type: none"> <li>有機化合物の特徴と分類について理解する。</li> <li>有機化合物の構造式を決定するまでの過程を学習し、その原理を理解する。</li> <li>飽和炭化水素の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</li> <li>不飽和炭化水素の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</li> <li>アルコール、エーテルの性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</li> <li>アルデヒド、ケトンの性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</li> <li>カルボン酸、エステルの性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</li> <li>油脂、セッケンの性質を、その構造と関連付けて理解する。</li> <li>芳香族炭化水素の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</li> <li>フェノール類、芳香族カルボン酸の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</li> <li>芳香族アミン、アゾ化合物の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</li> <li>芳香族化合物の分離を化合物の性質にもとづいて理解する。</li> </ul>							
	第V章 高分子化合物 第1節 高分子化合物 第2節 天然高分子化合物 第3節 合成高分子化合物	<ul style="list-style-type: none"> <li>高分子化合物の特徴を理解する。</li> <li>単糖、二糖について、その構造や性質を理解する。</li> <li>多糖について、その構造や性質を理解する。</li> <li>再生繊維と半合成繊維について、その合成や性質を理解する。</li> <li>α-アミノ酸について、その性質や構造を理解する。</li> <li>タンパク質について、その構造や性質を理解する。</li> <li>核酸について、その構造や働きを理解する。</li> <li>合成高分子化合物の特徴や分類を理解する。</li> <li>合成繊維について、その構造や性質、用途を理解する。</li> <li>合成樹脂について、その構造や性質、用途を理解する。</li> <li>機能性高分子について、その構造や性質、用途などを理解する。</li> <li>天然ゴムと合成ゴムについて、その構造や性質、用途などを理解する。</li> </ul>							
	終章 化学の築く未来	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学が果たしてきた役割として、さまざまな物質がそれぞれの特徴を生かして人間生活の中で利用され、日常生活や社会を豊かにしていることを理解する。</li> <li>化学の成果がさまざまな分野で利用され、未来を築く新しい科学技術の基盤となっていることを理解する。</li> </ul>							
2学期	大学入学共通テスト&私立大学入試対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学の全範囲の基礎の復習を通して、共通テストや私立大学の入試問題に対応できる力を身につける。</li> </ul>							
3学期	国公立大学2次&私立大学入試対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>国公立大学2次や私立大学を受験する生徒に対して、個別に指導する。</li> </ul>							
評価									
評価の観点		評価の趣旨			評価対象				
					1学期末	2学期末	学年末		
①	知識・技能	化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。			○	○	○		
②	思考力・判断力・表現力	化学的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。			○	○	○		
③	主体的に学びに向かう態度	化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			○	○	○		
評価方法	① 知識・技能		② 思考力・判断力・表現力			③ 主体的に学びに向かう態度			
	定期考査	80%	定期考査	50%	各種提出・レポート	50%	各種提出・レポート	50%	
	各種提出・レポート	20%	各種発表・まとめ	50%	各種発表・まとめ	50%	各種発表・まとめ	50%	

令和6年度(2024年度) 年間授業計画表

学年	3	コース	特進選抜文系	選択形態	必修	科目	理科演習	単位	3	
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地学基礎 地球や地球を取り巻く環境に関わり，理科の見方・考え方はたらかせる。そして，見通しをもって観察・実験を行い，科学的に探求するために必要な資質・能力を育成することを目指す。</li> <li>・生物基礎 物質とその変化に関わり，理科の見方・考え方はたらかせる。そして，見通しをもって観察・実験を行い，物質とその変化を科学的に探求するために必要な資質・能力を育成することを目指す。</li> </ul>									
使用教科書	高等学校 地学基礎 (第一学習社) 高等学校 生物基礎 (数研出版)	副教材	大学入学共通テスト攻略問題集 (第一学習社) 大学入学共通テスト攻略問題集 (第一学習社)		ビーライン地学基礎 ビーライン生物基礎		予定時間数	105		
単元と内容										
1学期	地学基礎・生物基礎		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地学基礎の総復習として演習問題を解き，解説を聞いて理解する。大学入学共通テストに向けて，読み取りの問題への理解を深める。</li> </ul>							
2学期	地学基礎・生物基礎		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地学基礎の総復習として演習問題を解き，解説を聞いて理解する。大学入学共通テストに向けて，読み取りの問題への理解を深める。</li> </ul>							
評価										
評価の観点		評価の趣旨					評価対象			
							1学期末	2学期末	学年末	
①	知識・技能		観察，実験などを通して科学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 科学的な事物・現象に関する観察，実験の技能を習得するとともに，それらを科学的に探究する方法を身に付けている。					○	○	○
②	思考力・判断力・表現力		科学的な事物・現象の中に問題を見だし，見通しをもって観察・実験などを行う。事象を実証的・論理的に考え，分析的・総合的に考察し，問題を解決する。事実に基づいて科学的に判断したことを，言語活動を通じて表現する。					○	○	○
③	主体的に学びに向かう態度		科学的な事物・現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究するとともに，科学的態度を身に付けている。					○	○	○
評価方法	①		②			③				
	定期考査	80%	定期考査	80%	各種提出				100%	
	小テスト	10%	小テスト	10%						
	各種提出	10%	各種提出	10%						